

よっちゃんだより

2012.2月 vol.31

株式会社 I S O
~いっしょに未来を喜びましょう~
餘 助 康 弘
090-1638-5351

いつも読んで頂き
ありがとうございます。



卒業式

いよいよ卒業のシーズンになりました。これはカミングアウトかもしれない。
実は私はあまり出来の良い学生ではありませんでした。知っている人は知っている
と思いきや... 不良だかと思えます。いろいろありました。そして、いよいよ高校の
卒業式。学校に向かい、式に出ようとしたその時、「お前は出席しなさい」と
言われ複数の教師が教室の出入口に立ち、教室から私を出してくれなかつた
のです。暴れるとでも思ったのでしょうか？仕方なく教室で待っていると式を終え
た。みんなが戻ってきて、これで高校生活も最後だね、と思っていたところ。何と!!
私だけの卒業式を教室で担任とクラスのみでしてくれました。一人だけの
卒業証書授与です。迷惑ばかりをかけていた私にとっては、何とも言えない思い出
の卒業式になりました。

この卒業があたからこそ、今の仕事もでき、たくさんのご縁もあつたのだと思うと胸が詰
まります。

采月、娘(小6)の卒業式です。ここでも胸が詰まりそうです。

決めている

何物言も決めるにはすごいパワーがあります。
どんなに小さなことでもそうです。そして、そのすべて
を自分で決めているのです。最後に〇〇しよう
と決めたのは間違いなく自分自身のはずです。

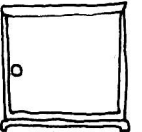
あの人が言ったから。

あの人が勧めたから。

でも最後に決めたのはあなた自身です。

さあ、スタートですよ。自信をもっていってください。😊

どこでもドアの悲劇



家族との会話の中で「今度、どこかへ旅行でもしたいよね」と
話になり、私が「家族で海外へ行ったことはない。グアムは？」
と聞くと、飛行機が怖い私以外のみんなは「え〜」と流石
反応。そこで「どこでもドアがあればなー」とホッリとあったところ、
娘の理緒が「お父さん、ごんだけ築しよーとしとれん。もつ
たるよ」と怒りだし、そして妻が追い打ちをかけるように
「旅行、ていつだ。その旅路を築くのも大変ねんよ!!」と
言い出し、一瞬にして私の居場所がなくなりました。泣いた。
そんな時にもどこでもドアがあればなあ、と思ってしまったのでした。😊

4+4=2

我が家の旅行にはどこでもドアはいらないようです。